



国際ロータリー第2610地区

南砺ロータリークラブ

クラブ会報

なんと

NO. 2480

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail office@nanto-rc.jp



例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/富山銀行福光支店4階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ふくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

第2540回例会 令和2年2月25日(火)曇り

- ◆点 鐘 12:30 川合声一会长
- ◆司 会 吉田 実 SAA
- ◆ソング 「それでこそロータリー」
- ◆ゲスト (一社)城端景観・文化保全機構 理事 山口 誠様
- ◆会長の時間 川合声一会长

皆さんこんにちは！この2週間ばかり新型コロナウイルスが全国様々な場所でその感染が広がっています。

隣の石川県でも感染者が発生。富山県でも千葉からの感染者が旅館で宿泊し数箇所の施設を巡り岐阜県の高山方面にも旅行したということで地元紙には詳しく報道され、二つの県にまたがる感染者の動きについてもっと情報を公開すべきとの論調で県の対応を批判しているようにも感じます。

たまたま先週の木曜日東京に出張しました。東京駅大丸のいつもは混んでいる食品売り場もガラガラで、八重洲のバスターミナルではいつもはキャリー型のスーツケースを引っ張る外国人でいっぱいですが本当に見事なくらいに誰一人バス乗り場にはいません。あれだけインバウンド訪日旅行者が溢れかえっていた東京が嘘のようでした。

ちょうど日曜日に昨年亡くなった父親の一周忌を内々で営むことになり東京の親戚などに来てもらい、母との久しぶりの再会と思っていましたが、前日に、介護施設から連絡があり県から指示があり高齢者の外出は差し控えてもらいたいということで結局母は法要に参加することができませんでした。親戚の方も大変残念がっていました。やはり高齢者への感染度が高いということでこのような措置がとられているのではないかと考えさせられました。

親戚の中に北京に工場を持っている会社の方がおり、製品の入荷が滞っており特に港までの配送トラックが見つからなくて大変だという話をしておられました。世界の工場といわれる中国での新型コロナウイルスの影響は計り知れない経済的な打撃を与えています。これは世界全体にも波及し、日本の景気にも大きく悪影響し、やがて我々地方中小企業にも悪影響をもたらすと考えられます。

ニュースでも報じられていますが新型コロナウイルスによる感染を防ぐために多くの医療従事者すなわちお医者さんや看護師さん厚生関係の役所の人たちが昼夜を問わない働きで拡大を防ぐため、みな一生懸命に仕事に取り組んでいるわけです。その中で、気になる記事を見つけました。それは日本災害医学会が新型コロナウイルスに対応した医師や看護師等が職場内外で不当な扱いを受けていると抗議する声明を出したということです。この学会は医師看護師救急隊員など災害医療や防災に携わる個人や組織で作る学会で阪神淡路大震災が起きた1995年に発足した学会です。

多くの医師や看護師等が災害派遣医療チームDMATとして中国武漢から政府のチャーター便で帰国した人や、横浜港でクルーズ船ダイヤモンドプリンセス号の乗客乗員への対応に当たったわけです。この声明ではこうした活動がなければより多くの人々が重症化して命が失われた可能性があると言っています。ところが学会によれば医師らが不当な扱いを受けるケースが続出しており自分の身を危険にさらして活動したのに職場ではバイキン扱いされたり、子供の保育園幼稚園から登園自粛が求められたりしてと言う、さらに職場の上司から現場で活動していたことに対する謝罪を求められた例もあったと、大変悲しい

話です。自らの職業として人々を救いたい、助けて差し上げたいと言う、言わば使命感であり、奉仕の精神が根底にあります。そういう人たちにこのような仕打ちがあることはそれぞれ心痛むことです。子供たちに勤労観・職業観を教えることは大切ですが、それよりも大人たちにも再教育が必要ではないかと思った次第です。

本日、国から基本方針が出されました。また、専門家チームからも具体性のある指針・心得が出されました。その方向に従って、これからの我々クラブの行事や活動が求められてくることとなります。

◆幹事報告 山田 孝幹事

①G事務所より、「インターアクトオーストラリア海外研修中止と第4回事前研修会中止のお知らせ」のご案内

◆委員会報告

★広報雑誌「友」2月号の紹介 松村壽副委員長

- ・23日はR創立記念日でしたから表紙はポール・ハリスとシルベスター・シールがパスタを食べている図です。二人はこれから第1回の例会に赴くところ。窓からのぞく例の猫たち。
- ・特集「ようこそ島へ」お薦めです。離島の5クラブ、活動も名物もユニーク、利尻は昔島の警備で命を落とした会津藩士の慰霊祭(うに井)、石垣は国立科学博物館の研究にからめて「海を渡った最初の八重山人」発表会(八重山そば)、隠岐西郷はオオキケイ菊の防除活動(さざえ)、対馬「サウンドクルーズコンサート」で島の音楽文化に貢献(ろくべえ)、小豆島は特別天然記念物樹齢1600年のシンバクの保護活動(オリーブ料理)詳細は読んで。
- ・横書き34Pに11月の地区大会の記事。記念講演の門田隆将氏は武田さんや野村さんのお力ぞえで福光を訪ねられました
- ・縦書きの講演記録、松森果林さんの肩書ユニバーサルデザインアドバイザーは何のことかわからなかったのですが聞こえない人間こえる人を例にバリアのない社会をつくる仕掛け人というところでしょうかね。前職のデイズニーランドでは「聞こえない人」が「聞こえる人」以上に楽しめるためのいろいろな対応を実現されました。ご一読を。

★I M 澤田喜朗富山第4分区ガバナー補佐

・新型コロナウイルスの感染者拡大に大変危機感を抱いております。渡邊実行委員長はじめ関係者の方々との協議の結果、3/7のI M(都市連合会)を中止することに致しました。関係者の皆さん方始め種々お世話戴きました方々に心より感謝申し上げます。

★職業奉仕 森 悦夫委員長

去る1/19に地区職業奉仕講演会があり、「職業奉仕の現状と未来」と題して刀根莊兵衛氏が話されました。内容については、後の資料机の上のプリントまたは、地区のHPを参照ください。

★青少年奉仕 松井洋司委員長

「14才の挑戦」推進委員会に出席してきました。澤田喜朗会長が座長で進行されました。報告では去る9月に140名参加(福光63、吉江77名、52事業所)で実施されました。体験談を載せた報告書は、例会場に置いておきます。目を通してください。次年度は、108名で、9/28～10/2に実施されます。

本日のプログラム 3月3日(火) 第2541回例会
ロータリー情報セミナー

担当 船藤幸生委員長

次回の予定 3月10日(火) 第2542回例会
卓 話

担当 会員 澤田喜朗君



私達は、一つの空き家を再生するために(一社)城端景観・文化保全機構という組織を創りました。城端の人だけでなく東京とか京都の方など他所の方と一緒に始めた活動です。

私は城端で活動する前は、白川郷、五箇山の世界遺産は富山県、岐阜県の県境にまたがり、一つの世界遺産でありながら共に発信すること少なかった。

1. 城端とは 城端別院善徳寺の寺内町として発展。五箇山で生産された繭を城端で絹織物にして、「加賀絹」として京都や江戸に売りに行き、曳山や庵屋台、庵唄(江戸端唄)などの文化を持ち帰ってきたといわれる。

2. アクセス 3. 周辺の観光資源として世界文化遺産「五箇山・白川郷」をはじめ、ユネスコ無形文化遺産やミシュラン3つ星などの観光地を有する北陸・飛騨・信州3つ星街道などがあります。

4. 曳山祭の魅力を知ってほしい

○曳山は、彫刻、漆、金箔を使った豪華絢爛な山車で、300年の歴史がある

○庵屋台は、江戸の深川・吉原、京都の祇園・木屋町のお茶屋を模した屋台

○庵唄は、江戸端唄をルーツに250年の歴史がある

”曳山祭をもっと知って欲しい”→曳山、庵屋台、庵唄など魅力ある伝統文化を体験してほしい。ということから

2010年 森まゆみさん(作家)、家中 茂さん(鳥取大学准教授)

2012年 西村幸夫さん(東京大学教授)、小島富佐江さん(京町家再生研究会)

2013年 日置圭子さん(NPO法人 粋なまちづくり副理事長)

2014年 小林英俊さんご夫妻(北海道大学観光学特任教授)

イザベルさん(フランス人記者) etcを招いた。

2013年8名から20名、40名で2016年には63名が曳山祭に参加

曳山祭は、5月4日(宵祭り)、5日(本祭り)に挙行され、6台の山車が町中を練り歩きます。京都祇園の「一力茶屋」等を模した「庵屋台」が山車を先導し、その中で三味線、篠笛にのせて江戸端唄の流れを汲む「庵唄」が唄われます。城端の街中に宿泊施設がないことから、空家を何軒か借りて、参加者を受入れています。2010年2人、2012年7人、2013年16人、2014年21人、2015年39人、2016年63人、2017年54人、2018年50人。”毎年 曳山祭の所望宿ができることを確保したい。”

今まで曳山祭に借りていた空家の通りでは、6年で3回しか夜の所望が出来ないことから、2014年以降も夜の庵唄所望ができる北陸銀行～南砺市城端庁舎までの間に借りられる空家を探しました。大工町に空家があり、貸して欲しいとお願ひしたところ、「安くてもいいから買って欲しい。」と言われ、3人で衝動買いをしました。この町内のご神像は「関羽・周倉」です。

借りた後のことは曳山祭以外はあまり考えていませんでしたが、三味線教室やまちづくりの勉強会などを開催することで、皆さんに知っていただくことが出来ました。今では、曳山祭の所望宿、むぎや祭では、観光案内所、その他にもマルシェでも使ってもらっていました。

5. 空家の購入 庵唄所望宿として 2013年 大工町(関羽、周倉)の空き家を3人で購入して「じょうはな庵」と命名し、拠点として活動開始。・5月5日の城端曳山祭の庵唄所望宿地域づくりや空き家再生などをテーマに勉強会を実施・むぎや祭の競演会場に行く小路を「灯りの小径」とし、道の両端に小さな雪洞を灯して人が楽しく通れるようにした。

6. 空家の購入・再生(1)

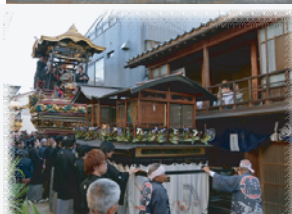
2015年の8月に神楽坂から日置ご夫妻が城端に来られた際に、

売家の看板がかかった空家を見られて、お二人とも「買おうか。」と言われました。そこから、この空家を購入・改修することを目的に、(一社)城端景観・文化保全機構を設立し、出資者を募りました。併せて改修のための補助金を探し、国土交通省の空き家再生保全事業(再生事業)を使わせていただき、改修をしました。通りの名前から「荒町庵」と名付けました。

今では出資者の利用が多いほか、「町家宿泊体験」として出資者を通して利用してもらっています。この町内のご神像は「堯王」です。



「じょうはな庵」



「荒町庵」

城端曳山祭りの背景を残したい



地域との連携…曳山会館

8. 善徳寺との連携(1)

城端別院善徳寺とアクティビティの造成や庫裏・宿坊の活用を含めて意見交換をしている。

・善徳寺さんには、大変お世話になっています。城端にお越しの方には「寺内拝観」をしてもらって、加賀前田藩との関わりのあるところや民藝の柳宗悦氏が「美の法門」を執筆した部屋を案内してもらっています。曳山祭の際には、参加者を宿坊に泊めてもらっています。

9. 善徳寺との連携(2)

端唄勉強会、各種フォーラム、サイクリングイベント会場として使用している。

10. 地域との連携 曳山会館、絹織物工場

城端に来られた方を必ずご案内するのが「曳山会館」です。曳山祭以外で曳山、庵屋台、剣鉾、傘鉾を観ることができ、蔵回廊では町や曳山の歴史に触れることができます。それと、城端に曳山等を齎したのが絹織物業の方々で、松井機業さんで、工場や絹織物について説明をして戴いています。

11. 広域連携(1) 神楽坂

2014～19年に「神楽坂まち舞台 大江戸めぐり」で城端庵唄を披露。2020年まで出演予定。

2012年に東京大学教授の西村幸夫先生に日置圭子さんをご紹介いただき、2014年から毎年曳山祭に来ていただいています。日置さんのご尽力で、「神楽坂まち舞台 大江戸めぐり」に出演させていただく機会を得て、それに向けての稽古をしました。伝統芸能のプロの中で唯一のアマチュアで最初の頃は大らかな気持ちで観ていただいていたのですが、近年はファンも多くなり、「東下町宝槌会」もどんどん力をつけています。このご縁もあって、神楽坂の住民の方やイベントスタッフの方も毎年曳山祭に来られるようになりました。



神楽坂まち舞台 大江戸めぐり ポスター(部分)

神楽坂まち舞台大江戸めぐりの参加から、プロデューサーの方から紀尾井ホールをご紹介いただき、一昨年からは紀尾井ホールとじょうはな庵との連携企画が始まりました。江戸端唄の第一人者の本條秀太郎さんとのご縁もいただき、江戸端唄の勉強会とワークショップもしています。

12. 広域連携(2) 高山市、白川村、金沢市、氷見市

JR城端駅のハブ化に向けて 北陸・飛騨・信州3つ星街道連携…高山駅・白川郷・五箇山・城端駅・氷見駅間のインバウンド連携(サイクリングツーリズム)

城端駅のハブ化を進める上で、高山市や白川村、氷見市、金沢市との広域連携を進めています。高山市、白川村、金沢市、南砺市と「北陸・飛騨3つ星街道」を立ち上げ、高山・白川郷・五箇山・城端・氷見のインバウンドやサイクルツーリズムを来年度から始動できるように準備を進めています。

== これからの課題

- ・地元の建築士、大工、左官業等の仲間を増やしたい。
- ・荒町庵、東町庵を宿泊施設(民泊)に。

◆出席報告 久患龍三委員長

会員数	2月25日出席率	2月4日の修正
49 (免除0)	75.51% (欠12)	83.67% (欠8マーク1)

メーキャップ: 澤田喜朗君。

(今回紙面の都合により、口絵、ニコボックスは次の機会に)